

A男・今回のキャンプをふりかえ
 ってみて、もっと自由なふんいき
 (たとえは、個室を作るとか、喫
 茶室を作るとか)というところにつ
 いてはもっと考えてゆかなければ
 と、思う。ちょっとあれだけしか
 った称に思われる。

B男・もっと家くらいはきれいに
 住みやすくしたい。

C男・なかなかそうもゆかないの
 だ。できる限りまあきれいにしま
 しよう。

D男・夏にもう一度来ようかなと
 思うけど、自分はおきつぽいので
 す。もっといろんなことをやって
 みようかなアーと思っておるので
 す。

E子・ここでの生活をふりかえる
 ことばかり、「来るまじ」の状態
 になって初めてわかるのです。夏
 には、また来たいです。

F男・参加者の発想は変えのき
 やね。
 G男・ちょっと自分でも変わら
 ないと思うのです。だんだん主
 人ツラになってきたもの。
 A男・あなたもやっていける「ハ
 ーレンド」と「共同体運動」と
 はズレてきませんか？

共同体にきて 共同体を 語る

—ある日の ミーティングより—

G男・おぎなり合っている感じ
 だから、少し不満なのです。
 A男・共同体運動として下界の
 うんどうに喝をいれるような
 テモをやるべし。
 B男・村祭や、盆踊りにもっと
 参加してはどうかね。
 H男・「ヨコ」の関係のなかで
 つながりをもっていくというこ

とは大事なことだ。
 B男・昔の「祭り」といっけは「思
 想」反権力」が失落していったんです。
 と思うんです。カクメイというのは
 祭りなのですか？
 I男・受験せなあかん。「みんなワラセ」
 家の近くでやっていきます。
 J子・ここでちょっとザッダン。おまか
 おんどりを作れ、収穫祭のナ
 などとー

J子・キャンプが終わったから、別
 になにもしないのです。学校に私
 は行くのです。研究にホッとして
 しようと思うのです。「みんな、シラテ
 ル」...あるいは慮化する」
 K子・エートロ的幻想が破れて

自分の今のもんだい意識(障害者同
 題)にこだわるのが、具体的な共
 同体への道のりであるように思える。
 人と人との「つき合いのし方」が共
 同体を考える時、もっとも重要なこ
 とのように思われる。私はこれまで
 常に、せいせい「保護者」的でしたか
 なかった。

(F) いつ、どこで、どうやって「共同体」って言葉、知りました？

(G) 共同運動、あなたは何をさすつもりですか？

(H) あなたは、自分を備北百人番のメンバーだと思っておられますか？

(I) 備北(今更の)どこかへ行ってみたいと思いませんか、どんな記事、
 欲しいですか？

(J) 備北へ行く、たことのある方、そこに何かありましたか？
 お行ったことのない方、なぜですか？

(K) 今更、備北へ行く予定ありますか、な、又知人で行かせたい人ありま
 せんか？

(L) 備北で共同運動にたいはる可能性をみますか？

(M) その他、言いたいこと、言いたくないこと、なんでも。

※この下はかかんと、てFさい。(としおすあ、てい)他の誰にどうと

コック長らの隠謀と強迫によ
って、皆さまおなじみのチ
リ紙交換ではないの、テカの
フライベイト日記(正しくは

絵日記)が恥か
しなから(秘)公開
されることにな
りました。どう
ぞ大きな声で突
って、あるいは
同情してやって
下さい。チョンイヒ
ロおね。

3月14日 浜田

駅についたのは夜
の10時。なんと12
時間も汽車に乗っ
ていたことになる。

迎への白タクはなく、止むなくタ
クシー、二千円也。弥栄はものす
ごい山奥、雪かないのかまだ救い
秋風さんか途中まで迎えに出てく
れる。共同体にイヌか一匹、メス。
まだ名前かないという。花ちゃ



Dekaの(感傷的) キャンプDiary

んかいいと思うよ。

3月15日

山の中は何て
いいんだろう／登
んだ小川／ネコヤ
ナギか花を
つけて
いる／ふきのとうかい
っぱい／冷たい、冷たい水は
出っぱなし／これからと
ステキなことが発見できます
ように……



近所に住むメクラのおじい
さんと親しくなる。私のおば
あさんと同じ年。

3月16日 みんなで10人(男
8人、女2人) 昼前焼畑をはじ
めて経験、超原始的、熱かった。
小さな木まで火に焼けるのは可愛
想。

ごはんは麦と米のミックス。わ
りとおいしいものだ。おかずは大
根、いつも大根が入ることになる
らしい。
少し前に山に雪が降りました。

やっぱり山には雪が似合います。

3月17日 お風呂はコエモン風
呂、三番目に入った。とても気持ち
良かった。スキ間だらけの、い
っぱいのぞき見のできる、外に雪
をみながら……というヤツ。

夜の討論は、私を井の中の蛙か
はじめて井戸から出て驚きの目を
見張っているという感じにさせる。
いつも私は聞き役。でもこうして
どん欲に知恵を吸収したい。
今日は3人増えて13人。

3月19日 午前中、シイタケの
原木運び。午後はみぞ堀り、これ
も疲れた。ごはんのおいしいこと
お腹がすく故。すでに手はかけか
け、荒れが目立つか……。労力は自
分との闘い。
生活、生産、即争かこの共同体
の三原則だという。

3月20日 私と同じ19才の女の
子が二人増え、八弥栄之郷共同体
——たいたい16匹。昼まえ、木
こり。山はとっても暖く、汗をか
いた。おまけにヒカ小憎までノコ

ギリで傷つけてしまった。
夜はミーティング。ねむくて、
ねむくて、あまりみんなの高級な
言葉が理解できにくく、耳から耳
へという感じ。

3月21日 朝から雨降り、山の
雨もまた良し。今日は朝昼兼用の
食事で、ぶつと室内で植菌。はじ
めのおやつで、ホットケーキか
出た。それに紅茶。

3月22日 朝、つららが軒下か
ら下り、ハック、ハックと霜柱を
踏んで、ハナと一緒に散歩した。
午後 耕運 萩の講習
黒に近い土
これか大地
はた
しで思い
たい／青 空の下で／太陽の光
を全身に浴びて／私は自由／歌を
唱おう／口笛を吹こう
ミーティング。性・結婚・
愛



3月23日 育すう器(ヒヨコさん
の家)の土台を作る。キツネなど
が入らないように育すう器のまわ
りにクイを打つ。
3月24日 シイタケの原木切り。
チェンソーの響きはまるで自然破
壊の呪化のよう。ノコギリでゴシ
ゴシと、ゆっくり歌をも唱いなか
ら、のんびり切るのか一番人間と
自然のつながりがあるみたい。
夜、酒盛。私は始め眠っていた
か、夜中頃から起き出し、エンエ
ン朝五時まで……。一時過ぎまで頑
張った人もいたとか。
3月28日 朝からすごい風、育
すう器のテントが飛んでしまう。
午前中はその補強。
ヒヨコが一五〇羽来る／とって
も可愛い。黒い班桌があった／
早く大きくなって卵が産めるよう
になったらいい／夏休みに来よう
／その時には……
今日の特筆すべき作業内容—
ホリの見張り小屋の見張り。
(次号に続く、乞御期待)

ヨーロッパ 共同体 めぐり

手作りの共同体

新年早々、ニースから電車、バス等を乗り継いで六時間、アルプスのNEW LIFE COMMUNITYに行ってきた。DIGNEというアルプスの山を過ぎ、雪山がどっしりとそびえ、日本の大山の春のような景色を見慣れたころ、コミュニティのある小さな町に到着。この駅は、一日上下三本の列車が停るだけ。コミュニティはその駅から歩いて一分ぐらいのところにある。

コミュニティ内で腰をおろしたとたん、リーダー格のギリシア人か矢継ぎ早に質問してきた。かなり政治的な向躰にも関心をもちているようだ。年末に50人程集って、クルーア・ダイナミックスやセミ

ナーをやったりしたとか。コミュニティのメンバーは全員ベジタリアン(肉食主義者)で、山からタンという草をとってきて紅茶のようにして飲んだり、チーズを作ったり、もちろんパンは自家製。また2個のヨーグルトを餌媒にして20個に増やすということをした

り、電気をただで使うとか、かなりおもしろく色々なことをやっている。生態学と共同体、現在メンバーは、このギリシア人夫妻とその三人の子供、それにイギリス人と二人のフランス人の八名である。最初このコミュニティは、ギリシア人夫妻によって始められたのだが、彼らは、南仏、イタリア、地中海沿岸を土地捜しに走り回ったそうぞ、結局はココアルプスに落ち着いたとか。

生態学と共同体

ニワトリを20羽近く、小さな野菜畑をもっていて、ほぼ自給に近い。牛乳は近くの農家に毎朝取りに行く。翌朝イギリス人のフラン

シスが牛乳をとりに行くというのでついて行った。東西が少し開けただけの四方を雪山に囲まれた人口七〇〇人の全く静かな平和な町を見下す。フランスは、「都会よりも田舎を選

びたい」、コミュニティに参加した理由はというと、「生態学的な面から実践していけるから」と話してくれた。この日の夕方に来た、近隣の農家で働いているイギリス人の若者も盛んに生態学を主張していた。このコミュニティの核の一つに生態学的方向があるようだ。

その騒々しい日々、田舎のコミュニティは孤立しないかと聞くと、時々多くの友人を集めてセミナーを開いたり、パリにも出かけて行って集会を開いたり、扉は常に開かれておるといふ返事だった。

その騒々しい日々

彼らは英語とフランス語が自由に使えることを理想とし、子供たちに対しては英語で話してくれと

いっていた。しかし彼らの英語はイギリス人のフランスを除いてアメリカン・イングリッシュ、それもG.E.I.イングリッシュ臭さか鼻についた。とくに子供たちはどちらも自由に話せるようだったが、真の母国語をそたないの

は思考する際不幸ではないかと思われる。この夫婦は大声で仏・英語入り乱れての喧嘩ばかりしている。そんなせいか、一番末っ子の3才のマルセルは、一日中暴れ回ったり、他人に食ってかかったりで、怒りの表情しか見せない。少々病的な程だ。

コミュニティの強い政治的志向、将采南米の島にコミュニティを作りたいという高い理想に比べて、現実の教育がうまくいっていないのは大きな向躰だ。

フランスでは村ごと捨て去られた所があり、そこをコミュニティ化しようとする若い人たちの動きがあることを聞いた。この動きはイタリアでも同じ様である。

フランスでは村ごと捨て去られた所があり、そこをコミュニティ化しようとする若い人たちの動きがあることを聞いた。この動きはイタリアでも同じ様である。

いろいろぼた

春のキャンプが終わり、郡会はキャンプ帰りの人たちにぎやみになりましたが、弥栄のほうは、いいようのない静けさに包まれているようです。

本会計報告
百人委員会：二七、八四四円(名)
春キャンプ会計：一三、二五五円(名)
(キャンプ資金は赤松の会計へいれさせていただきます)

4月29日(日)本島フレンドシップセンター
「共同体建設のための集まり」
1じり、連絡は 0277-2760
5月6日(日)大阪守口市市民会館
「パネルディスカッション」
「今、なぜ、共同体なのか」
1じり、連絡は 百人委まで

百人委のパンフレット「われら共同体志願者」の英語版が近日完成し手す。いりようの方は、千共20円で申し込んで下さい。(多数の方は部数知照して下さい)

百人委山賊出版社新刊パンフレットの「標的を射る」尾田弘毅執筆
1. 人民公社と共同体
2. 共同体の交差点
3. コミュニズムと社会主義の現状をさぐ

はじめの胸と肩がせ、アンケートをせました。よろしく、おねがいします。